

## 十字架とパリの曇天が幸運を引き寄せた

乾板に十字架のシルエットを残した犯人は

1895年にドイツのレントゲンが発電管からのX線を発見した翌年、パリ工科大学の物理学教授ベクレルは、自分が研究中の蛍光物質もX線を出すのではと考え、写真乾板を使った感光実験を繰り返していました。蛍光物質は、日光の刺激によって蛍光を発するため曇天では実験ができません。

そして曇りの日が続いた早春、ベクレルは実験をあきらめ、写真乾板が感光しないよう黒い紙で包み、その上に当時は手軽に入手できたウラン塩と十字架型の文鎮を乗せて引き出しに入れました。

数日後、これらを取り出し、事前テストとして乾板を現像してみると、日光は遮断してあったのに、十字架の形がはっきり写っていたのです。



放射能の発見者として、その名前は永遠に

ベクレルは、乾板を感光させたのは、ウラン塩から透過力の強い「未知の放射線」が出ているからだと考えました。そして、これを「ベクレル線」と名付けて1896年春に発表。この発表に関心を持ったキュリー夫妻が、ベクレル線の研究を続けたことがラジウムの発見へつながり、ベクレルは後に「放射能（放射線を出す力）」の最初の発見者と認定されるのです。

1903年、ベクレルはキュリー夫妻とともにノーベル物理学賞を受賞します。さらに1975年に国際単位系の見直しが行われた時、放射能の強さを表す単位を従来の「キュリー (Ci)」から放射能を最初に発見した彼にちなんで「ベクレル (Bq)」とする名誉まで与えられました。

●参考文献(ホームページ):内閣府「放射線防護に用いる量と単位」、健康文化「ベクレルの放射能研究報告」、ウィキペディア「アンリ・ベクレル」ほか

What's Up?

## そこが知りたい! 浜岡原子力発電所のいま

中部電力(株)浜岡原子力発電所では、大きな津波の襲来に備えて「まず敷地内への浸水を防ぐ」「仮に敷地内が浸水しても建屋内への浸水を防ぐ」「さらに冷やす機能を確保する」という深層防護の考え方に基いて対策強化を進めています。

### ここにフォーカス! どのような場合でも「冷やす機能を確保」するために

大規模な自然災害などで、3ルートの送電線や原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合でも、複数の代替手段を講じて冷やす機能を確保し、重大事故への進展を防ぎます。

1 海拔40mの高台にガスタービン発電機6台(19,200kW)を新設①

●原子炉への注水ポンプを起動 ●海水を使う冷却ポンプを起動して除熱②

さらに、ガスタービン発電機が使えない場合は

●蓄電池③を電源に余熱蒸気の圧力 ●各号機の建屋屋上の発電機④や移動を使ってポンプを回し原子炉へ注水 ●できる電源車⑤でポンプを回して注水

仮に電源がなくなった場合は

●可搬型の注水ポンプ⑥で、海拔30mの地下水槽⑦、貯水タンク⑧、敷地西側の新野川などを水源に、原子炉につながる配管につないで注水

電源供給 代替電源を確保する  
注水 原子炉へ直接水を送る  
除熱 原子炉から発生する熱を取り除く



緊急時海水取水設備

詳しくは中部電力HP「浜岡原子力発電所の今、これから(安全性のさらなる追求)」を

複数の代替手段を講じる **検索**



蓄電池

災害対策用発電機

中部原子力懇談会

〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6F  
TEL:052-223-6616 FAX:052-231-7279  
<http://www.chugenkon.org>

放射線出前教室・出張授業を実施します。お気軽にお問い合わせください。詳しくはHPをご覧ください。

ホームページから本誌の定期送付のお申し込みが可能です。

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に使われます。



この冊子は地球環境保護のため、植物性大豆油インクを使用し、有害な廃液の発生が少ない水なし印刷をしています。



## 特集 ここに注目! エネルギー 基本計画

エネルギーサイト  
訪問記 第4回

原子力・エネルギーに関する  
科学技術研究開発の拠点

公益財団法人  
**若狭湾エネルギー  
研究センター**

(福井県敦賀市)

これは  
な〜に?  
詳しくは4ページをご覧ください

2014年6月発行(年2回刊)

発行/中部原子力懇談会  
名古屋市中区栄2-10-19名古屋商工会議所ビル6F

# 102

vol.1

ここに注目!

# エネルギー基本計画

2014年4月11日、エネルギー政策の指針となる第四次「エネルギー基本計画」が閣議決定されました。今回の改定は東日本大震災後初めて行われたもので、方針が大幅に見直されました。そこで注目すべきポイントを整理して、わかりやすく解説します。

## 「エネルギー基本計画」とは

エネルギー政策基本法(2002年制定)に基づいて政府が策定する基本方針で、「安全性、安定供給、経済効率性の向上、環境への適合」を主眼に、国のエネルギー政策の指針となるものです。2003年に初めて策定され、2007年に第二次、2010年に第三次と改定されて、今回が第四次計画に当たります。東日本大震災や東京電力(株)福島第一原子力発電所事故などエネルギーを巡る国内外の環境変化を踏まえたもので、東日本大震災後の初の計画です。

## 基本計画を見直した背景は

計画書の冒頭で、その背景が説明されています。要約すると「政府・原子力事業者は、いわゆる『安全神話』に陥り、過酷事故への十分な対応ができず、悲惨な事態を防げなかったことへの深い反省を一時たりとも放棄してはならない。一方、原子力発電所が停止した結果、化石燃料への依存度が高まり、電気料金などのエネルギーコスト増大となって、

経済活動や家計に負担をかけている。こうした状況を打開するには、戦略的かつ現実的なエネルギー政策の再構築が必要である」というものです。

## 主な電源を特性によって3種類に位置付け

基本計画では各電源を3種類に位置付けし、今後はそれぞれの特性に応じた役割を担うための政策が進められます。

**ベースロード電源** 発電コストが低く安定的で、昼夜を問わず継続的に稼働できる

原子力 石炭 一般水力 地熱

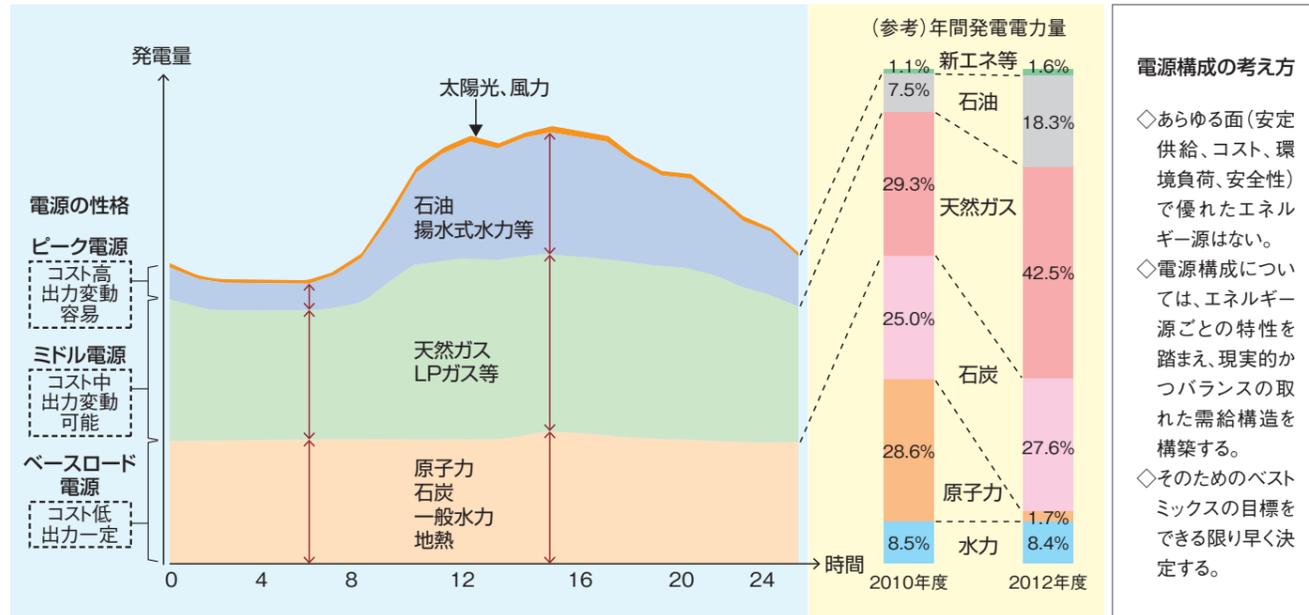
**ミドル電源** 発電コストがベースロード電源の次に安価で、電力需要の動向に応じて出力を機動的に調整できる

天然ガス LPガス

**ピーク電源** 発電コストは高いが、電力需要に応じて出力を機動的に調整できる

石油火力 揚水式水力

## ●電力需要に応じた電源構成



出典:資源エネルギー庁「エネルギー基本計画」

## 原子力発電

ベースロード電源として、安全性を確認した上で再稼働を進める

- 運転コストが低く変動も少なく、需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源
- 原子力規制委員会の規制基準に適合した原子力発電所の再稼働を進める
- 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入や火力発電所の効率化により、依存度は可能な限り低減する
- 安定供給などの観点から確保する規模を見極める
- 過酷事故の教訓を踏まえ、リスクを最小限にするため万全の対策を尽くす。万が一、事故が起きた場合は、国は関係法令に基づいて責任をもって対処する



津波や地震対策が進められている浜岡原子力発電所 写真提供:中部電力

### ここに注目!

基幹的な電源と位置付けて再稼働を進め、依存度は減らすものの将来の増設にも含みを持たせています。これは「増設せず、2030年

代に稼働ゼロを可能に」とした前政権の方針から大きく転換するものです。4月現在、商用原子炉は48基あり、規制委員会に規制基準への適合審査を申請しているのは17基です。

## 核燃料サイクル

「もんじゅ」を減容化の研究拠点に、放射性廃棄物処理を強化

- 再処理やプルトニウムを推進
- 高速増殖炉「もんじゅ」は、放射性廃棄物の減容・有害度の低減や核不拡散関連技術の向上のための国際的な研究拠点と位置づける
- 高レベル放射性廃棄物は、国が前面に立って最終処分に向けた取り組みを進め、使用済核燃料の貯蔵能力の拡大に向けて政府の取り組みを強化する



減容化の研究拠点となる「もんじゅ」(福井県) 写真提供:朝日新聞社

### ここに注目!

核燃料サイクルが堅持される一方で、「もんじゅ」が新たに放射性廃棄物の量を減らすための研究拠点となります。また、高レベル放射性廃棄物と使用済核燃料の問題解決に向け、国の主導のもとで取り組み強化が図られます。

## 再生可能エネルギー

2013年から3年程度、導入を最大限に加速

- 重要な低炭素の国産エネルギー源であり、太陽光や風力、地熱、水力、木質バイオマスなどがある。2013年から3年程度、導入を最大限に加速し、その後も積極的に推進する
- これまでのエネルギー基本計画を踏まえた水準をさらに上回る水準の導入を目指す



太陽光発電

風力発電



水力発電

バイオマス発電

写真提供:中部電力

### ここに注目!

まだ再生可能エネルギーの導入割合は示されていませんが、過去には「2030年に約20%」という目標が設定されていました。ちなみに2012年度の発電割合は、水力を含めて約10%です。現在、固定価格買取制度を軸に導入促進が図られています。

## エネルギーミックス

多層化・多様化した柔軟なエネルギー需給構造を目指す

- 特定の電源や燃料源への依存度が過度に高まらないようにし、安価で安定的なベースロード電源を国際的に遜色のない水準で確保する
- 原子力発電所の再稼働、固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギーの導入など、地球温暖化問題に関する国際的な議論の状況を見極めて速やかに示す



日本に向けて航行中の世界最大級のLNG船 写真提供:中部電力

### ここに注目!

原子力発電所の全停止による電力不足を補うには火力発電を増強するほかなく、中東・インドネシア産の原油・LNGの輸入が急増。この結果、2012年度の電源構成では化石燃料の割合が88%に達し、1973年度の第一次石油ショック時の80%を上回り、早期の多様化(ベストミックス)が望まれます。

## ベースロード電源として期待される「地熱発電」の潜在能力

再生可能エネルギーで唯一ベースロード電源とされた地熱発電。その実力は、太陽光や風力と違い常時安定的に発電でき、設備利用率も80%を誇ります。環太平洋火山帯に位置する日本は、世界3位の地熱資源大国ですが、適地の多くが開発制限のある国立公園内に立地し、掘削費用の大きさや温泉組合との利害調整などの課題もあります。現在、地熱発電所は東北と九州を中心に17カ所あり、発電出力は約515MWです。近年、公園景観への影響が少ない斜め掘り工法も開発され、規制緩和が進めば巨大な電源となる可能性があります。



日本最大の八丁原地熱発電所(九州電力:大分県) 写真提供:朝日新聞社

## 安価で調達しやすい燃料を強みに再評価されている「石炭火力」

今さら石炭?実は2006年から日本の電気の25%以上が石炭火力で作られ、新鋭の発電所では技術革新によって昔のイメージを覆す発電効率を実現しています。他の先進国でもドイツが45%、アメリカが43%と石炭への依存度が高く、世界の全発電量の41%を石炭火力が占めています(2011年度実績)。石炭は埋蔵量が豊富で、世界中に分布し、値段も安定している反面、天然ガスなどに比べてCO2排出量が多いのが難点です。そこで国と電力会社などが共同で、石炭をガスに変換して排熱も利用する「石炭ガス化複合発電」の開発に取り組み、実用化すれば大幅にCO2を削減できます。エネルギー基本計画では、こうした技術も視野に、活用拡大を探る方針を示しています。



世界最大級の出力を誇る碧南火力発電所 写真提供:中部電力

中部地方を中心に、エネルギーの安定供給や次世代に向けた先端研究に関わる施設をシープレス編集部が訪問し、その取り組みをご紹介します。



ナビゲーターの横田です  
今回は原子力・エネルギーに  
関する研究開発の最前線をご  
紹介します。

# 原子力・エネルギーに関する科学技術研究開発の拠点

公益財団法人

## 若狭湾エネルギー研究センター

(福井県敦賀市)



先端研究にふさわしい近未来的な外観デザイン

### イオンビーム照射による研究開発から 人材育成まで多彩に

若狭湾の沿岸には原子力発電所が数多く立地しています。福井県はこの特性を活かし、エネルギーの総合的な研究開発拠点として地域振興を図るとともに、関連技術を産業の活性化に役立てようと取り組んできました。「若狭湾エネルギー研究センター(略称:エネ研)」は、その中核施設として1998年に開所されました。現在、エネ研では「多目的シンクロトロン・タンデム加速器」や「太陽炉」を活用した基礎研究・技術開発をはじめ、国際的な原子力人材の育成、海外研究機関との交流など多彩な事業を展開しています。

### 多目的に活用される シンクロトロン・タンデム加速器

水素・ヘリウム・炭素などの荷電粒子(イオン)を超高速で照射することで、物質の組成や劣化、植物遺伝子の突然変異、がん細胞の破壊プロセスなどを効率的に研究できます。この加速器システムは、タンデムとシンクロトロンという2種類の加速器を組み合わせ、イオンを低エネルギーから高エネルギーまで幅広く制御できます。その特徴を活かし、工業・農業・医学など多彩な分野の研究や技術開発に活用され、これまで数多くの成果を上げています。



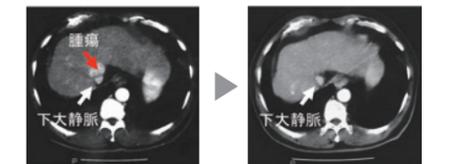
粒子を加速するシンクロトロンの電磁石は、こんなにカラフル。

### 医学 陽子線がん治療の研究成果を医療の現場へ



陽子線は、身体の表面近くでは吸収される放射線量が少なく、ある深さで最大となります。陽子線治療はこの特性を活かし、がん病巣だけをピンポイントで破壊します。エネ研では加速器を使った陽子線照射による臨床研究を8年間積み重ね、2013年、その成果を福井県立病院「陽子線がん治療センター」開設へと結実。「痛くない、辛くない、苦しくない施術」として多くのがん治療に貢献しています。

肝細胞がん治療前 陽子線照射1ヵ月後



肝細胞がん(→部)に呼吸同期照射を行いました 照射1ヵ月後、同部位の腫瘍がなくなりました

### 品種改良 イオンビーム照射で突然変異の頻度を高める

イオンビームによる育種は、突然変異率が高く、他の変異原では得られにくい変異が生じることから、目的の性質を見つけたり、性質を変える品種を確立する手間を大幅に省けます。この技術を活用し、企業と共同で野菜や観用植物、醸造製品や医薬品、有用な菌類などの性能改良を行い数々の実績を上げています。国内で育種目的にイオンビーム照射を行う施設は4カ所ありますが、西日本ではエネ研だけです。

#### ●イオンビームの特徴

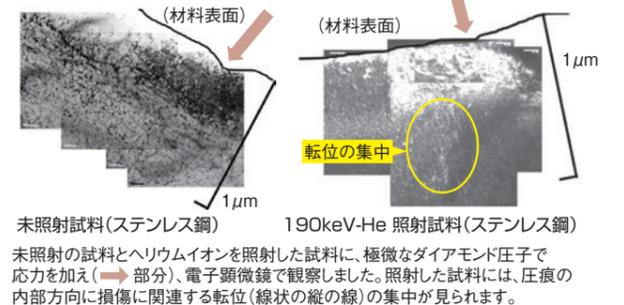
ガンマ線  
イオンビーム  
細胞  
細胞  
同一線量の照射ではイオンビームの方がより局所的に大きなエネルギーを与えることができます。



イオンビーム照射で品種改良を行う照射室4。

### 材料の評価 原子力や宇宙関連機器の放射線耐性を調べる

長期間、放射線を受ける原子力プラントの構造体には高い耐久性が求められます。その材料開発に役立てるため、ステンレス鋼に水素やヘリウムイオンビームを照射し、さらに力を加えて電子顕微鏡で劣化現象を解明します。また、原子力や宇宙・航空分野など特殊な環境で使われる半導体材料の放射線耐性を調べるために水素ビームを照射し、新たな材料開発の研究に役立てられています。



未照射試料(ステンレス鋼) 190keV-He 照射試料(ステンレス鋼)  
未照射の試料とヘリウムイオンを照射した試料に、極微細なダイヤモンド圧子で応力を加え(→部分)、電子顕微鏡で観察しました。照射した試料には、圧痕の内部方向に損傷に関連する転位(線状の縦の線)の集中が見られます。

### エネルギーの有効利用研究

#### 太陽炉を使って、もみ殻からシリコンを抽出

太陽光は地表で約1kW/m<sup>2</sup>のエネルギー密度で降り注ぎます。このクリーンエネルギーの有効利用を探索するため、光を一点に集中させて最大2,300℃の高温をつくり出す「太陽炉」(太陽追尾型)を独自に開発。これまでに酸化鉄を太陽炉による高熱で還元した鉄に水を加え、環境負荷の少ないサ



太陽炉の設計・開発にも携わった研究員の篠田さんと重田さん

◀特殊なレンズの集光により、炉の温度は2,300℃に

イクルで水素を製造する技術などを開発しました。現在、稲の脱穀後に出るもみ殻を太陽炉で加熱し、殻に20%程度含まれるシリカ(ケイ素の酸化物)から、半導体や太陽電池の素材になるシリコンやシリコンカーバイドをつくる研究を行っています。また、小型太陽炉を使って太陽熱を電気に変える研究もを行っています。



シリコンまたはシリコンカーバイド分離回収技術開発  
光合成によるCO<sub>2</sub>吸収  
稲 → もみ殻 → もみ殻の蒸焼 → シリコンまたはシリコンカーバイド

高度な測定器・分析器からホール・会議室まで低料金で利用できるのも、この研究センターの大きな魅力です。



「シンクロトロンで加速された粒子は、1秒間に地球を約4周する速度で飛ぶんですよ」と説明される企画支援広報部の和田英将さん。



### 人材育成 次世代教育も、国際的な原子力人材の育成も

エネ研は教育機関としても多彩に活動しています。「エネルギー産業の発展には人材の継続的な育成が重要」と事務局長の太下善己さんは語ります。将来を担う世代には文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール」指定校の高校生を受け入れて先端機器を使った実習を行っています。また、国際貢献事業としてIAEAなどと連携して国内外の研修生・研究者・留学生を受け入れ、アジアを中心に原子力人材の育成に取り組んでいます。さらに、福井

県独自の取り組みとして原子力発電所の保守業務に携わる人々の技術量認定制度も運用しています。



海外原子力人材の研修 スーパーサイエンスハイスクール 保守技術の技量認定

若狭湾エネルギー研究センターの詳しい情報は、こちらへアクセス

若狭湾エネ研 検索

<http://www.werc.or.jp/>

# 日本の原子力発電所の政治経済的な意義

## — エネルギー安全保障について —

自然災害の多い日本で、原子力発電所を安全に稼働させることは可能なのか——専門家の間でも意見が分かれるこのテーマに、評論家中野剛志氏が独自の視点で分析し、今後どうあるべきかを提言しました。



なかの たけし  
中野 剛志 氏

評論家  
東京大学教養学部卒業後、通商産業省(当時)入省。平成22年、京都大学大学院へ出向。平成23年准教授(平成24年5月まで)。

### 原子力発電所を安全に稼働できるのか

東日本大震災における東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故が突きつけたのは「自然災害が多い日本で、果たして安全な原子力発電所ができるのか」という問いでした。地震や原子力工学の専門家の意見さえ分かれる中で、門外漢である大半の国民がその是非をどうやって判断したらいいのか。私はできると考えます。

客観的な事実として、福島第一の4つの原子炉は深刻な事故を起こしましたが、福島第二、女川、東海第二といった原子力発電所は、被災したものの深刻な事態には至りませんでした。中でも女川は、IAEA(国際原子力機関)の調査で「あれほどの地震にも関わらず構造物への影響が少ないことに驚いた」と評価しています。こうした事実を冷静に捉えれば、しっかりとした対策を講じるなら安全性は確保できるという説に一定の理があると考えます。

もちろん、どんな対策を講じてリスクをゼロにはできませんが、浜岡原子力発電所が巨大な防波壁を建設しているように、人間には過去の事例から学習して、より備えを強固していく知恵があります。



客観的な事実として、福島第一の4つの原子炉は深刻な事故を起こしましたが、福島第二、女川、東海第二といった原子力発電所は、被災したものの深刻な事態には至りませんでした。中でも女川は、IAEA(国際原子力機関)の調査で「あれほどの地震にも関わらず構造物への影響が少ないことに驚いた」と評価しています。こうした事実を冷静に捉えれば、しっかりとした対策を講じるなら安全性は確保できるという説に一定の理があると考えます。

### 「エネルギーの安全保障」を第一義に

これまで政府や電力会社は、もっぱら原子力発電の存在意義を比較的安価な電力を大量供給できる「経済性」とCO2を出さない「環境性」を柱に訴えてきました。しかし、あれだけ過酷な事故を起こす可能性があるのに、この2点のみでは正当化できません。むしろ原子力発電を存続させる意義は「エネルギーの安全保障」にあります。1970年

代に起きた石油ショックでの混乱から学んだように、エネルギーの多様化を維持することが安全保障を確保するうえで極めて重要です。

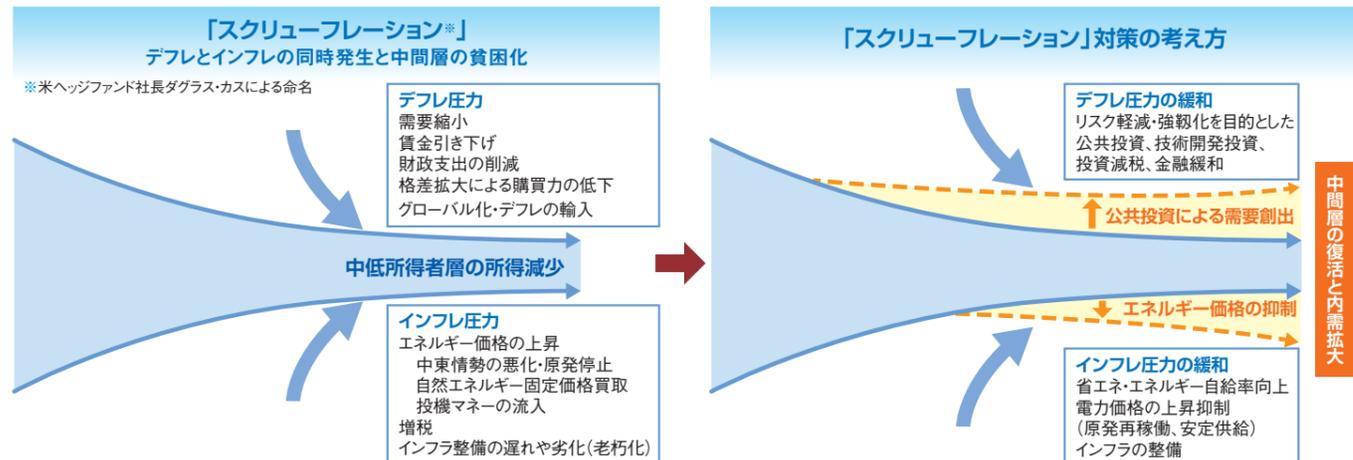
安全保障とは、他国のいかなる脅威にも屈することなく、自らの運命は自ら決める「民族自決権」、言い換えれば「国民主権」を守ることです。たとえ紛争・恐慌・災害などで、外国から調達する食料や資源価格が高騰しようとも国民の生活を守ることです。そして、エネルギーにおける安全保障には電源の多様性が不可欠であり、原子力発電の持つ膨大な熱量や効率性、ウラン資源の確保しやすさ、廃棄物処理や廃炉費用を見込んで石炭と同等のコストといった特性は、捨てがたいメリットです。

### デフレ圧力とインフレ圧力を同時緩和する政策を

政府はアベノミクスを軸に、デフレ脱却を目指してインフレ政策を行っていますが、実は生活必需品は2003年から価格が上がり続け、贅沢品の値段は下がり続けているのです。円安が進めば電気代も含む物価はさらに上がり、4月から消費増税が拍車をかけます。一方で物価上昇を吸収できるほど賃金は上がりません。商品を買ってもらうため競争は激化し、またデフレ圧力が高まる。このようにインフレとデフレが同時に起きる状況を「スクリューレーション」(下図参照)といいます。スクリューとは「絞りを上げる」という意味で、この場合は中間層(中低所得者)が絞られて貧困に陥ることを指します。日本に起きているのは、この現象ではないでしょうか。当然、貧富の格差は広がります。

こうした状況から脱却するには、経済施策「3本の矢」に加えてエネルギー価格の抑制を図ることが重要です。それには公共投資として資金投入してでも原子力発電所の安全性を高め、なるべく早く稼働させ、省エネも促進してエネルギー自給率を高めることです。政治・経済を複眼的に捉えれば、そうした政策でデフレ圧力を弱め、インフレ圧力を緩和する効果が期待できます。

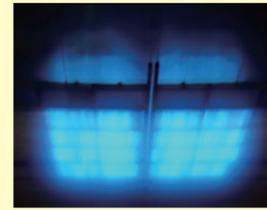
### スクリューレーションとその緩和策



### 社会で役立つ放射線

福島の原子力発電所の事故以来、放射線は怖いものという報道が目立ちますが、放射線が安全・安心で快適な生活を支えている側面も見落とすことはできません。そんな放射線の知られざる活躍をご紹介します。

(株)コーガイソトープ  
(滋賀県甲賀市)



貯蔵プール内の「コバルト60(ガンマ線源)」。青白く光るのは、チェレンコフ光。この光は、ガンマ線により生じた高速の荷電粒子が、水のような透明な物質中を通過する際に発生する、いわば光の衝撃波。

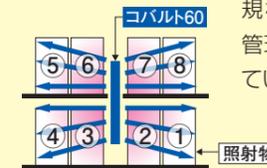
## ガンマ線照射による滅菌処理で、社会の安全・安心に貢献

### 照射物は線源(コバルト60)の周りを通過して滅菌完了

照射施設(工場)は大きな自動倉庫という印象です。照射物は専用アルミ容器に入れられコンベアを移動して照射室へ運ばれます。分厚いコンクリート壁が迷路のように続く奥にコバルト60が設置され、その周りを容器が通過する間に必要な線量(通過時間で制御)のガンマ線が照射されて菌は死滅します。

ガンマ線は透過力が高いため製品内部の菌を死滅させ、ガスや蒸気が通り抜ける特別な包装・梱包が不要で、有害残留物もなく、照射が終わればすぐに使えます。これがガスや高温高圧蒸気を使った滅菌法と大きく違う点です。処理後に照射報告書

#### 照射装置の断面図



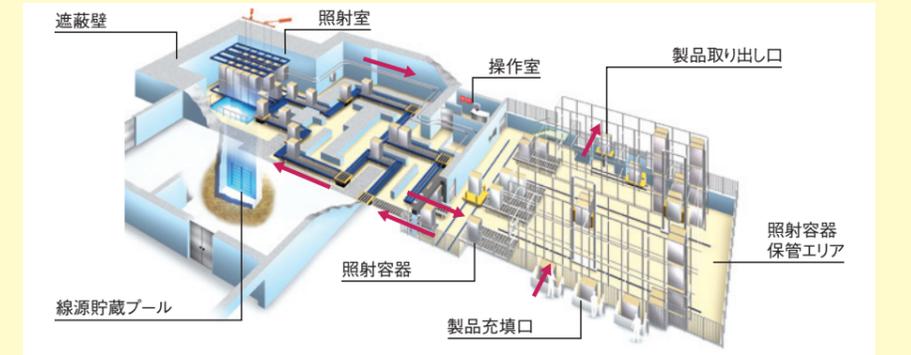
が発行され、国際規格に基づく品質管理・保証が行われています。

### 積極的な情報発信で正しい理解を

他の放射線関連施設と同様に、同社も放射線照射への啓蒙・啓発に力を注いでいます。「製品に放射能は残らない?」「大地震が来たら施設が爆発するのでは?」こんな疑問や不安を解消するには事業の透明性と情報発信が重要です。そのためホームページで事業内容をわかりやすく解説したり、施設見学会や展示会を通じて情報公開に努めています。「医療機器や医薬品を滅菌するには滅菌処理の検証や証明が必要ですが、当社では国際規格や規制に準拠した照射や微生物検査で信頼性を確保しています」と語る下郷社長から社会の安全・安心を支える強い自負を感じました。



(左から)下郷 信社長、廣庭隆行営業部長(工学博士)、成末泰岳課長



<http://www.koga-isotope.co.jp> コーガイソトープ 検索

### 今後の行事予定 詳細・参加希望については、当会ホームページまたはTEL052-223-6616までお問い合わせください。

開催日	場所	演題	講師
平成26年9月12日(金) 13:30~15:30(13:00開場)	名古屋商工会議所 2階ホール	長崎・チェルノブイリから福島を学ぶ(仮題)	たかむら のぼる【長崎大学 原爆後障害医学研究所】 高村 昇氏【国際保健医療福祉学研究会 教授】
平成26年11月21日(金) 15:00~17:00(14:30開場)	名古屋商工会議所 2階ホール	原子力発電の安全性について ~安全性確保のために考えるべきポイント~(仮題)	やまもと あきお 山本 章夫氏【名古屋大学大学院 教授】
平成26年8月2日(土) 15:00~17:00(14:30開場)	プラザ洞津 2階高砂の間 (三重県津市)	放射線リスクとマスコミ報道のバイアス ~メディア情報の確かな読み方~	こじま まさみ 小島 正美氏【毎日新聞社生活報道部編集委員】

送付希望、ご意見・ご要望はこちらへ↓

キリトリ線

郵便はがき

料金受取人払郵便

名古屋中局  
承認

1237

差出有効期間  
平成28年5月31日

(切手を貼らずに  
お出しください。)

4 6 0 8 7 9 0

3 1 6

名古屋市中区栄2-10-19  
名古屋商工会議所ビル6F

中部原子力懇談会 行



(ふりがな) お名前		年齢	歳
ご住所	〒		
お電話番号	( ) -	性別	( 男 ・ 女 )
ご職業			

●裏面のお書きになった内容を本誌に掲載してもよろしいですか？

可 不可

●掲載する場合のお名前は？

本名 匿名 ペンネーム( )

●今後本誌の送付を希望されますか？

継続して希望する はじめて希望する 希望しない

当懇談会は、お寄せいただいた個人情報を適切に管理し、事前に承諾を得た場合を除き、第三者に提供・開示等、一切いたしません。

## C-pressについて質問します

に✓を。

●C-press 第102号の中で、特に興味をお持ちになったテーマをお選びください。あわせて理由もお聞かせください。(複数回答可)

表紙

特集：ここに注目！ エネルギー基本計画

エネルギーサイト訪問記4：若狭湾エネルギー研究センター

講演会「日本の原子力発電所の政治経済的な意義」

社会で役立つ放射線1：(株)コーガイソープ  
「ガンマ線照射による滅菌処理で、社会の安全・安心に貢献」

エピソードでつづる偉人たちの横顔2：アンリ・ベクレル

What's Up?: そこが知りたい! 浜岡原子力発電所のいま

その他( )

[理由]

●本誌で取り上げてほしいテーマをご記入ください。

●その他、本誌に対するご意見・ご要望があればご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。